

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第1区分

【発行日】平成19年7月5日(2007.7.5)

【公開番号】特開2005-310717(P2005-310717A)

【公開日】平成17年11月4日(2005.11.4)

【年通号数】公開・登録公報2005-043

【出願番号】特願2004-130024(P2004-130024)

【国際特許分類】

H 0 1 M 8/04 (2006.01)

【F I】

H 0 1 M	8/04	X
H 0 1 M	8/04	J

【手続補正書】

【提出日】平成19年5月21日(2007.5.21)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

燃料電池本体と、

前記燃料電池本体の起動後、継続的に熱量が供給される第1部分と、

前記燃料電池本体の起動後、継続的に熱量が供給される第2部分と、

水素系排出弁と、

を備え、

前記第1部分と第2部分との間に前記水素系排出弁を配置した燃料電池システム。

【請求項2】

前記第1部分は、前記燃料電池本体から排出されるガスから熱量を供給される気液分離器である請求項1に記載の燃料電池システム。

【請求項3】

前記第2部分は、前記燃料電池本体から排出されるガスから熱量を供給される水素処理器である請求項1に記載の燃料電池システム。

【請求項4】

前記第1部分は、前記燃料電池本体を構成するスタックに設けられたエンドプレートである請求項1に記載の燃料電池システム。

【請求項5】

前記第1部分は、前記水素系排出弁を収容する空間が内部に形成されたカバー部を備え、

前記カバー部の空間に前記水素系排出弁が配置されその空間が前記第2部分によって閉じられた状態で、前記第1部分と第2部分とが直接固定されている請求項1に記載の燃料電池システム。

【請求項6】

燃料電池本体と、

前記燃料電池本体の起動後、継続的に熱量が供給される第1部分と、

前記燃料電池本体の起動後、継続的に熱量が供給される第2部分と、

水素系排出弁と、

を備え、

前記第1部分と第2部分とで囲われた空間に前記水素系排出弁を配置した燃料電池システム。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0005

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0005】

本発明は、上記課題を解決するためになされたものであり、燃料電池システムであって、燃料電池本体と、前記燃料電池本体の起動後、継続的に熱量が供給される第1部分と、前記燃料電池本体の起動後、継続的に熱量が供給される第2部分と、水素系排出弁と、を備え、前記第1部分と第2部分との間に前記水素系排出弁を配置する構成とした。